

プロジェクト憲章

プロジェクト名

『パソコン教室向け採点業務支援システム開発プロジェクト』

プロジェクトの目的または正当性

ジュニア・プログラミング検定に準拠した模擬試験問題の採点業務を支援する。

プロジェクトの目標と関連する成功基準

模擬試験問題の自動採点で行う画像比較の一致率を98%以上にする。

また、自動採点を行う際、生徒の回答を同時に10件以上行うことができるようにする。

前提条件と制約条件

前提条件: プロジェクトメンバーの構成について、プロジェクトマネージャー1名、フロントエンド開発2名、バックエンド開発3名の計6名とする。

制約条件: 12月9日のプロジェクト演習合同成果発表会までにシステム開発の完成とする。

プロジェクトの作業範囲

業務として、生徒情報の管理、採点業務を範囲とする。機能は、生徒管理機能、自動採点機能を対象とする。

ハイレベルの要求事項

実装機能

- ① 生徒管理システム
- ② 採点システム

また、採点システムで使用する模擬試験の問題を、『ジュニア・プログラミング検定』に準拠した内容で作成する。

ハイレベルのリスク

予想されるリスクはメンバー欠員、作業遅延、書類不備、システムエラー等が挙げられる。これらが発覚した場合、PMはリスク計画表に基づいた対応をとる。

要約マイルストーン・スケジュール

別添WBSに記載

要約予算

★WBSを見て変更

予算: 1233万円

PM: 295時間×1万=295万円

他メンバー: 375時間×0.5万円×5名=938万円

ステークホルダーの一覧

クライアント: 株式会社イー・トラックス

エンドユーザ: 小学生低学年から中学生まで

開発チーム: A13班 柴田怜、田面大輝、千々岩水葵、土屋悠斗、富田真光、西川竜雅

プロジェクト承認要求事項

プロジェクトを12月9日までに終了させ、ベンダーの担当者が確認し、問題がないと判断されたら、受け入れる。

プロジェクト・マネージャーの責任及び権限

プロジェクトマネージャー: 土屋悠斗

責任: プロジェクトの完遂

権限: プロジェクトの管理及び指揮